

実装部門（一般市枠）

AIオンデマンドタクシー 「おもやいタクシー」 運行事業

事例自治体：荒尾市（総合政策課）

連携団体等：荒尾市タクシー協会、(株)未来シェア、(株)リサーチアンドソリューション

取組み概要

概要

- 令和2年10月にAI配車システムを活用したAIオンデマンドタクシー「おもやいタクシー」を運行開始。
- AI配車システムを活用することで、相乗りを前提としつつ複数の予約をリアルタイムで効率的に配車することが可能となった。
- 令和4年3月には、おもやいタクシーの予約機能をはじめ、観光の情報発信やクーポンの発行などが可能な観光×交通アプリ「おでかけあらお」を構築。

取組みの背景

背景

- 人口減少や公共交通に対するニーズの多様化などにより公共交通利用者数は減少傾向にある。
- それに伴い、公共交通確保の維持に係る補助金額が増加傾向にあることから、補助金額の抑制及び公共交通の利便性向上を図り、公共交通全体の活性化を図る必要がある。

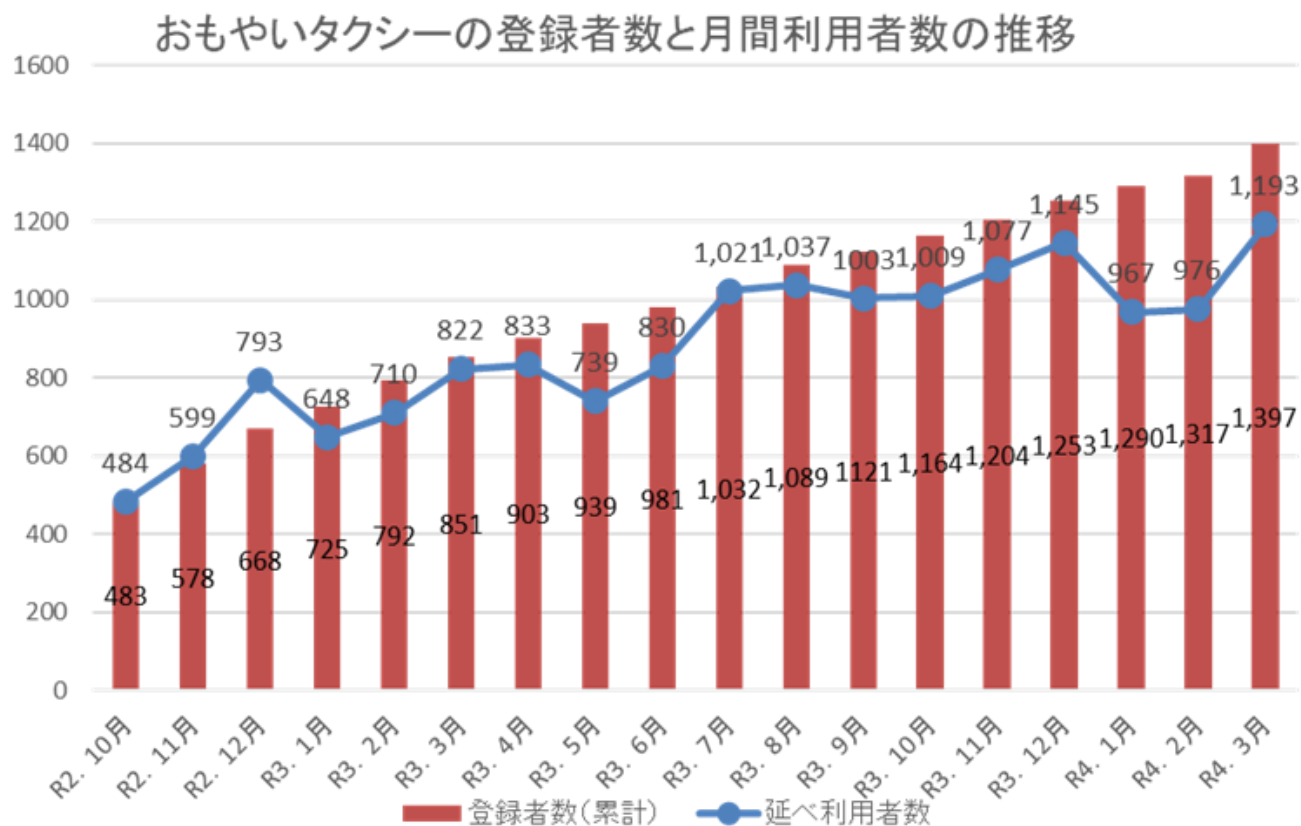
課題解決への具体的内容

事業による課題解決

- おもやいタクシーの導入による潜在的な公共交通利用者の掘り起し。（往：路線バス 復：おもやいタクシーなど）
- おもやいタクシーの導入に伴い、特に利用者が減少したバス路線の再編を実施し、公共交通維持に係る補助金額を削減。

取組みによる成果

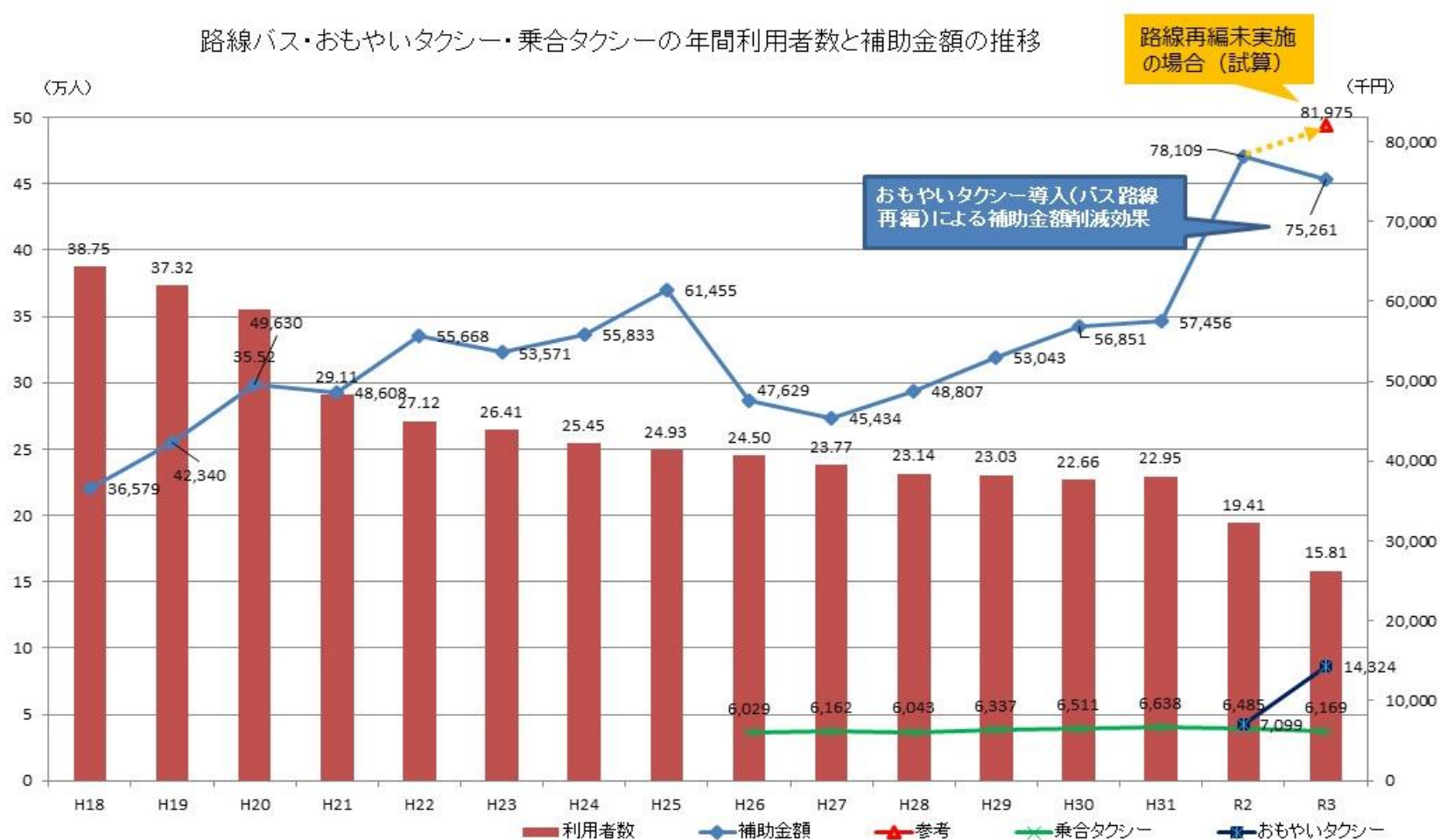
着実な利用者増



取組みによる成果

公共交通維持に係る補助金の削減

路線バス・おもやいタクシー・乗合タクシーの年間利用者数と補助金額の推移



本取組みの主な特徴

公共交通との共存

- 既存の公共交通機関（路線バス、タクシー）との共存を図るため、料金面及びサービス面において路線バスとタクシーの中間的な公共交通機関としておもやいタクシーを導入した。さらに、公共交通全体の利便性向上を図ることで、自動車から公共交通への転換を促進し、公共交通全体の利用者増を目指している。

アプリとの連携

- 観光×交通アプリ「おでかけあらお」では、おもやいタクシーの主な目的地である医療機関やスーパーマーケットなどの商業施設の情報を掲載し、生活の移動に関する利便性向上を図っている。

今後の展開

- 観光×交通アプリ「おでかけあらお」を活用し、子供の習い事送迎支援を図るべく「子育て応援タクシー（仮称）」の実証実験を令和4年度に実施し、公共交通の利用促進及び習い事などの送迎に係る保護者の負担軽減を図る。

オンデマンド型相乗りタクシー 概要

乗客Aから迎車依頼



別の乗客Bから迎車依頼



AIシステムがルートを自動計算
乗客AとBは相乗へ



- スマホで配車手配
- 乗降場所/時間を指定可能
- 相乗りすることで、乗車賃はタクシー未滿
- 運転手はAIからの指示通りに運転
- 渋滞緩和、CO2削減
- 未来シェア社のシステムを利用

運行概要

- 運行開始時期：2020年10月1日から
- 使用車両：EVタクシー2台（電力は荒尾市内で発電した電力）
- 運行時間：全日(土日祝日を含む) 8:00～17:00
- 乗車賃：距離別固定300円～700円
※バス乗継割・スマホ予約割⇒各50円引き/人
- エリア：荒尾市全域（飛び地含む）
※乗降場所は設けず、フリー乗降
- 事業名称：おもやい (OMOYAI) タクシー